

落合英男の 「知的障害者のアート療育」展

藤枝市在住の画家であり教育者である落合英男氏(82歳)は、“知的障害者は隔離すべき”という
いまだに社会から拭いきれない養育方針の中で、前例を見ないアート療育に50年余にわたり取り組んできた。
そのアート療育は、健常者も知的障害者も分け隔て無く共通の理念に基づくものであり、
知的障害者に情緒の安定や生活の向上をもたらし、その過程で誕生したアート作品は見る者に多くのことを語りかけてくる。
健常者の作品とは一線を画する感性によって表現される障害者アート作品のプロセスを展示するとともに、
落合英男氏がアート療育実践の中から切り開き創造した療育の世界を紹介する。
これは巷間に広まりつつある“アールブリュット”という概念の重要なひとつの側面を提示するものでもある。

2022
3/15(火) → 3/27(日)
10:00~21:00

展示会場：静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター(CCC)
1Fギャラリー

会期内特別講演

落合英男の「アート療育の心得—誰でも楽しく表現できる—」

3月19日(土)14:00~15:30 (詳しくは裏面に)

3月21日(月・祝)は開館し、3月22日(火)は閉館となります。

●落合英男氏は右の日に会場にいます(休憩時間を除く終日)⇒3/15(火)、19(土)、20(日)、21(月祝)、24(木)、26(土)、27(日)



主催：静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター

協力：社会福祉法人 富岳会・社会福祉法人 草笛の会・社会福祉法人 見晴学園・(有)きのいい羊達

クリエイティブを、育む、活かす、魅せる。

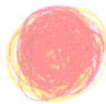
the center
for creative
communications

落合英男の「知的障害者のアート療育」展

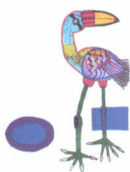
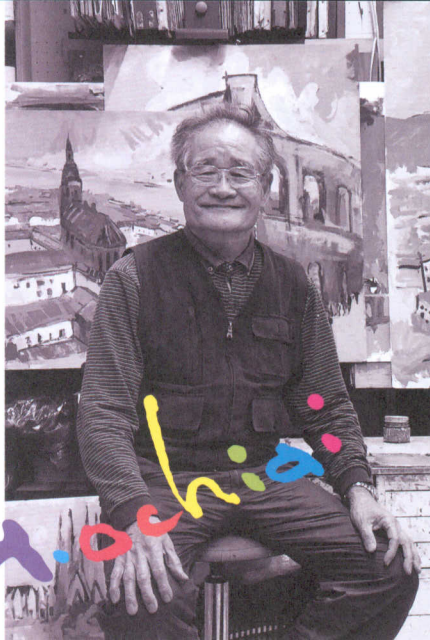
期間中はギャラリーにおいてアート療育指導の経過を示す習作資料と完成作品を展示。絵画療育におけるポイントをまとめたチャート図なども掲示するほか知的障害者施設における絵画療育指導風景の映像を終日上映。

落合氏が会場ギャラリーにいる日は来訪者の質問・相談などにもお応えします（落合氏在館日はオモテ面に記載）。

知的障害のあるお子様のいらっしゃる保護者の皆さま、幼児・児童の養育のヒントを模索している方、美術指導者を志している方、あるいは知的障害者のアート活動に関心のある方、どうぞお気軽にご来場ください。



知能者の発達
●自覚の段階
5 描画の発達に必要なこと
子どもの発達へのよき影響は環境刺激の適切な提供にあり、描画への参加も環境刺激の重要な要素とならなくてはならない。描画は自覚の発達を促すだけでなく、描画を通して自己表現の機会を得ることもできる。知能者の発達には、知能者の発達に合わせた適切な環境刺激の提供が重要である。この展覧会では、知能者の発達に合わせた適切な環境刺激の提供について解説する。



落合英男 著
「知的障害者のための絵画療育の心得」
A4 版変型・270ページ・all color
¥5,000(税込)
※落合氏の在館日のみ販売します



会期内特別講演

落合英男の「アート療育の心得—誰でも楽しく表現できる—」

3月19日(土) 14:00~15:30

CCC 1Fギャラリー内特設会場 受講無料・先着30名(着席10名、立席20名)

- 展示されている作品実例や指導風景の映像をもとに、障害児、障害者、健常児を問わず、豊かな心を育むために必要なアート療育の大切さと心得について解説します。
- コロナ状況により講演要項の変更または中止の場合もあります。ご確認のうえご来場ください。



お問い合わせは、お電話またはEメールにて
静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター
〒420-0035 静岡市葵区七間町15番地の1 TEL.054-205-4750 FAX.054-260-4550
info@c-c-c.or.jp https://www.c-c-c.or.jp/
開館時間/午前10時~午後9時
休館日/毎週月曜日および12月29日~1月3日 ※月曜日が祝日の場合、翌日以降の最初の休日以外の日

クリエイティブを、育む、活かす、魅せる。



ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。
■JR静岡駅より徒歩約14分 ■静鉄新静岡駅より徒歩約13分
■静鉄ジャストライン「県庁-静岡市役所葵区役所前」停留所より徒歩約8分、「七間町」停留所より徒歩約2分

